

# 関西物流改善事例 発表会2022

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

物流改善の第一歩を踏み出そう



会期: 9月7日(水)  
10:00~15:50

開催形式: 会場参加・オンライン参加選択形式

- ・会場: ホテルマイステイズ新大阪  
コンファレンスセンター  
(大阪市淀川区)
- ・オンライン: Zoomウェビナー

主催: 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)  
一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会

## ロジスティクス強調月間2022サポーター 一覧

株式会社IHI	サカタウエアハウス株式会社	日本通運株式会社	三菱商事株式会社
株式会社あらた	サンコーインダストリー株式会社	株式会社日本海新聞社	村田機械株式会社
SBSリコーロジスティクス株式会社	住友重機械搬送システム株式会社	日本貨物鉄道株式会社	矢崎エナジーシステム株式会社
株式会社NTTロジスコ	株式会社住友倉庫	日本電気株式会社	ヤマエ久野株式会社
花王株式会社	センコーグループホールディングス株式会社	日本マクドナルド株式会社	株式会社ライノス・パブリケーションズ
鹿島建設株式会社	株式会社ダイフク	株式会社フジトランス コーポレーション	株式会社流通研究社
コマツ	中部興産株式会社	ホンダロジコム株式会社	
株式会社サーガ	株式会社豊田自動織機	三井倉庫株式会社	

# ■ 参加のおすすめ ■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会では『関西物流改善事例発表会2022』を開催いたします。

本発表会は物流の実務に焦点をあて、物流現場担当者の方々の日々の改善へのお取り組み、小集団活動等による成果事例等、現場の改善事例を中心に広く募集し、その発表を通じて、物流業務の効率化や生産性の向上、ローコストオペレーション、環境負荷低減活動などを推進するためのヒントや課題を物流の実務者同士が情報共有し、交流することを目的としております。

皆様からのご参加お待ちしております。

## プログラム 2022年9月7日(水)

10:00 ↓ 10:05	<b>【開会挨拶】</b>	高田 充康	関西物流改善事例発表会2022実行委員会 委員長 オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統括室 国内物流部 部長
10:05 ↓ 10:20	これからのロジスティクスのあるべき姿 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 寺田 大泉		
10:20 ↓ 10:50	<b>発表1</b>	<b>保管方法・通路幅を見直し、保管効率の向上による原価低減</b>	
10:20 ↓ 10:50	アサヒロジ株式会社 近畿圏支社 高槻支店 幸坂 篤憲 氏	物流センター開設以来、現場作業環境の大きな見直しを行っていなかったため、見直しを行うことにした。「レイアウト」「保管ルール」「通路幅」3つの大きな問題が見つかった。これらを改善することにより保管効率を向上させ、保管原価の低減を目指した。その結果、使用坪数：284坪削減(▲29%)、保管効率：47.2才/坪向上(+189%)、通路割合：13%削減(▲13%)と成果をあげた。 <b>【取扱製品】玩具</b>	
10:50 ↓ 11:20	<b>発表2</b>	<b>物量増加や働き方改革への対応を求められる中、当日配達・発送サービスを維持発展した全方位的改善戦略</b>	
10:50 ↓ 11:20	株式会社オノマシン 大阪物流センター 主任 湊 優一 氏	大口顧客との取引拡大による物量の増加や働き方改革による労働環境改善への社会的・法的要請が高まる中、当日受注当日配達・発送サービスを維持発展させる事を目標に、人・モノ・方法・場所の全方位から「とにかくやってみる」の改善精神でムダ・ムラ・ムリ取りを行い、作業の効率化・平準化に取り組んだ。物量が前年比203%と増加する中、135%の人員増で当日配達便の締切時間12時、当日発送の締切時間14時を堅持した。出荷ミス件数も前年比45%と大幅に削減することができた。 <b>【取扱製品】機械工具</b>	
<b>休憩(10分)</b>			
11:30 ↓ 12:00	<b>発表3</b>	<b>コンテナデバン時のスキャン作業無人化 (コスト対策・人手不足対策・作業者の健康面の改善)</b>	
11:30 ↓ 12:00	福助ロジスティクス株式会社 吉川商品センター センター長 平 智博 氏	物流センター立地の関係もあり、新卒社員採用に苦戦している。また、物流センターのパートナー企業の作業者も高齢化が進んでいる。そのような中、最低賃金UPへの対応、発着場担当者の健康面での負担軽減が課題となっていた。その対策として、マテハン機器導入によるコンテナデバン時のスキャン作業の無人化に取り組んだ。スキャン業務(2レーン分)の委託コスト、月/15万円が0円となり年/180万円コスト削減となった。 <b>【取扱製品】アパレル</b>	
12:00 ↓ 12:30	<b>発表4</b>	<b>作業実績データを活用した異常管理及び延勤管理の深化による労働生産性向上</b>	
12:00 ↓ 12:30	グンゼ物流株式会社 カイゼンセンター 早川 雄治 氏	労務構成(延勤人員)の約74%を占めるパートタイマーの賃金は最低賃金UPにより、毎年3%程度上昇している。この部分の延勤人員を適正に保つことが経営を支える大きな柱となるため、作業上のロスの早期発見・対処・改善及び人員管理ロスの極小化が重要となる。そのため、作業実績データを活用して現場の異常と人員管理ロスを見せる化する仕組みを構築し、労働生産性の向上に取り組んだ。その結果、対人売上高で対前年103.1%、対目標100.1%を達成することができた。 <b>【取扱製品】アパレル</b>	
<b>昼休み(60分)</b>			

<p>13:30 ～ 14:00</p>	<p><b>発表 5</b> 『BtoB出庫におけるGASを活用した生産性向上と出庫ミスゼロへの挑戦』 ～RFIDゲートとの併用による新たなGAS運用方法の構築～</p> <p>ワコール流通株式会社 守山流通センター 流通2課 チーフ <b>五島 優菜 氏</b> <b>竹内万里子 氏</b></p>	<p>GAS運用を本来のBtoCではなくBtoB出庫において検証した。当初の生産性は従来のハンディターミナルによる出庫の65%の状況であった。改善と検証を繰り返し、初回出庫においてはトータルピッキング作業自体を無くす画期的な方法を構築し、飛躍的に生産性向上を達成した。またRFIDゲートを併用し二次検品を行うことで出庫品質を担保した。生産性としては、GAS(導入時平均)334枚/H⇒GAS(運用変更後平均)770枚/Hとなった。 ※GAS:ゲートアソートシステム <b>【取扱製品】女性インナー商品</b></p>
<p>14:00 ～ 14:30</p>	<p><b>発表 6</b> 次世代社員の活躍で『現場のあるべき姿』のイノベーション実現 ～DX実践によるデータ活用～</p> <p>株式会社ハンナ 取締役 <b>下村 祐也 氏</b> 第143期物流技術管理士</p>	<p>物流業界は新型コロナウイルス感染対策や労働力不足対応など課題が山積している。この状況を打破する救世主は人間力のある次世代社員であった。人間力を重視した社員教育で、IT導入に率先して取り組む次世代が活躍できる機会を提供。中小企業でもできる現場の意識改革の実践と、多様性のある物流サービスを行い、未来型『現場のあるべき姿』の実現を進めた。具体的にはベテラン社員の経験、カンに頼る現場から、次世代社員を中心にITによるデータ活用を推進した。その結果、異常発生削減(取組前と比較し43%低下)、未経験者の車両事故の撲滅(改善取組前と比較し47%低下)、新卒定着率の向上(取組前50%→取組後100%)につながった。 <b>【取扱製品】食品・文具</b></p>
<p>14:30 ～ 15:00</p>	<p><b>発表 7</b> 出荷用緩衝材のプラスチック資源削減～地球にやさしい出荷への挑戦～</p> <p>クボタロジスティクス株式会社 九州部品DC <b>洲野 太志 氏</b></p>	<p>各拠点から送り込まれる入庫部品には梱包材、緩衝材等で大量のプラスチック素材が使用されている。自拠点から出荷する部品にもプラスチック素材の緩衝材を多く使用している。これらの処理にはCO<sub>2</sub>が発生するため、量が増えると環境に多大な影響が生じる。その対策として再利用可能な紙緩衝材の使用率を増やし、プラスチック素材の使用率削減に取り組んだ。目標設定としてエアバックを60%削減に対し、本活動による対策後、目標を超過達成した。 <b>【取扱製品】農機部品</b></p>
<p>15:00 ～ 15:05</p>	<p><b>記念品贈呈</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>休憩(10分)</b></p>		
<p>15:15 ～ 15:45</p>	<p><b>特別講演</b> <b>2022年度最優秀物流改善賞 物流業務部門</b> <b>IEを活用した“ONE TEAM”による全体最適な庫内運営の実践</b> ～更なるユニットロードのSHINKAに挑戦～</p> <p><b>NX・NPロジスティクス株式会社</b> 商品管理課長 <b>大谷 英義 氏</b> 商品管理課 主任 <b>中村 圭輔 氏</b></p> <p>ユニットロード化に取り組むなか、車両の出発時間が変化しない等、庫内作業の部分的な改善が図れるも、全体的な改善にまで至っていない状況となっていた。その解決として、荷役作業から車両出発までの工程をIE手法により分析、全体最適化にむけた取組を行う。この取組により、持続的なユニットロード化実現を目指す。 <b>【取扱製品】家電製品</b></p>	
<p>15:45 ～ 15:50</p>	<p><b>【閉会挨拶】</b></p>	<p><b>生地 幹</b> <b>関西支部運営委員会 委員長</b> <b>ダイキン工業株式会社 物流本部長</b></p>

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。  
※新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催形式が変更となる場合がございます。

**関西物流改善事例発表会2022 実行委員会 委員一覧** (2022年7月1日現在。敬称略)

委員長 高田 充康 オムロン(株)グローバル購買・品質・物流本部 物流統括室 国内物流部 部長	委員 武田 重治 ダイキン工業(株) 物流本部 企画部長
副委員長 望月 彰 間ロジスティクス(株) 代表取締役	委員 森口 哲博 ダイセル物流(株) 安全品質推進部 部長
副委員長 堤 幸信 ワコール流通(株) 代表取締役社長	委員 植松 仁志 大和物流(株) ロジック・オフィスサポート事業部 オフィスサポートグループ 担当課長
委員 宮川 淳 アサヒロジ(株) 近畿圏支社 営業部長 兼 高槻支店長	委員 中原 明敏 西日本エア・ウォーター物流(株) 物流事業部 営業開発部 部長
委員 渡辺 一真 (株)NTTロジスコ 高槻物流センター センター長	委員 丸山 義弘 日本通運(株) 大阪支店 関西営業部長
委員 浅香 辰也 クボタロジスティクス(株) 取締役 総務部長	委員 石寺 勝秀 (一社)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長
委員 兵庫 正能 コイズミ物流(株) 営業本部 新規事業推進室 室長	委員 岸 拓磨 (一社)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員
委員 太期 健仁 コクヨサプライロジスティクス(株) 物流本部 物流2部 副部長 兼 近畿IDC統括所長	委員 中西 学 フジトランスポート(株) 常務取締役(営業本部長)
委員 杉本 守 佐川グローバルロジスティクス(株) 関西エリア エリアマネージャー	委員 桑波田 吉広 山村ロジスティクス(株) 取締役 営業推進本部長
委員 秋山 政泰 センコーグループホールディングス(株) 管理本部 人材教育部 常務理事部長	委員 柴田 吉政 レンゴーロジスティクス(株) 営業本部 西部営業部 九州営業部 部長

## 参加申込規程

### 参加料 (会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)

	参加料金 (消費税込)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,500円/1名
上記会員外	25,300円/1名

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

### ◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

#### ◇フォローアッププログラム参加料：11,000円/1名(消費税込)

フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

### 参加定員

- 会場参加：150名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

### 参加申込方法

- WEBサイトからお申し込みください。  
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。



トップ

講演会・大会

改善事例大会  
・発表会

### 参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。  
それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

#### 【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算) …… 参加料(消費税を除く)の30%  
開催前日および当日 …………… 参加料(原則として消費税を除く)の全額  
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

### ご注意

- お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。
- 参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。  
※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

### ■事務局■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部  
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11F  
e-mail : kansai@logistics.or.jp

### ■個人情報のお取り扱いについて■

当協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

### ■会場のご案内■

#### ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

〒532-0011  
大阪市淀川区  
西中島6-2-19  
TEL:06-6302-5571

#### 交通のご案内

- JR新幹線、  
地下鉄御堂筋線  
新大阪駅から  
徒歩5分

※お客様用の駐車場は  
ご用意がございません。  
ご来場の際は、公共交通  
機関をご利用ください  
いませ。



### 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

当協会では、集合型事業の開催にあたり、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」等に基づき、感染リスクの低減対策を徹底します。

- 適切な収容人数を設定、来場者間の適切な距離を確保した座席配置等を行います。
- 可能な限りドア・窓を開放し、会場内の換気に努めます。
- 消毒液を会場に設置し、入退場時の手指衛生を奨励します。
- 入場時に参加者の検温を行い、37.5度以上の方はご参加をお断りします。
- 会場では必ずマスクを着用していただきます。

詳しくは以下URLよりご確認ください。<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/jils-coronataiou.pdf>

### オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。  
日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。  
<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。

### プログラム内容のお問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部  
TEL.06-4797-2070